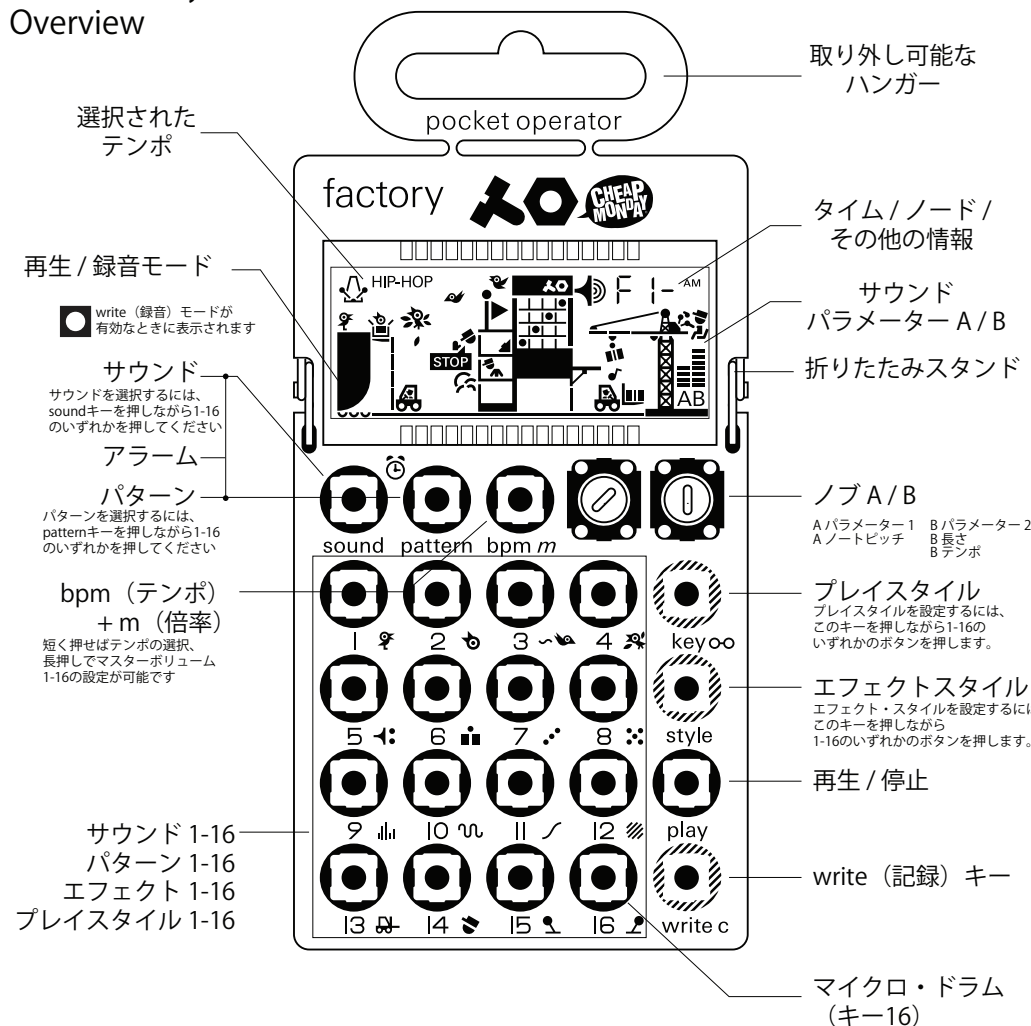


# PO-16 factory Overview



自動電源オフ (a.p.o = auto power off)  
一定時間ボタン操作が行われなかった場合、  
本体の電源が自動的に切られ、  
ディスプレイで時間を表示するだけのモードに切り替わります。  
sound + bpm ボタンを押すと、電池の状態を確認できます。

- |  |   |  |
|--|---|--|
| <p><b>サウンド 1-15</b></p> <p>FM、減算合成方式シンセ<br/>ウェーブテーブルから<br/>物理モデリングのストリングス・<br/>サウンドに至るまで、<br/>多様なリードシンセサウンドを<br/>選択可能です。</p> | <p><b>サウンド 16</b></p> <p>16種類のサンプリングされた<br/>サウンドを使用可能な<br/>マイクロ・ドラムマシンです。<br/>writeモード時にサウンドを<br/>設定するには、<br/>1-16のいずれかのボタンを<br/>押しながらノブAを回します。<br/>選択されたサウンドを示すため、<br/>n 1-16のいずれかが<br/>ディスプレイ右上に表示されます。</p> | <p><b>エフェクト 1-16</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>低サンプルレート</li> <li>ディストーション</li> <li>ピットクラッシュ</li> <li>ディレイ</li> <li>ローパス・フィルター</li> <li>ローパス・スウィープ</li> <li>ハイパス・フィルター</li> <li>ハイパス・スウィープ</li> <li>スタッター 3</li> <li>スタッター 8</li> <li>リビート 8</li> <li>リビート 6</li> <li>音符のシャッフル</li> <li>フィードバック</li> <li>パラメーターLFO</li> <li>ピブラート</li> </ol> |
|--|---|--|

# PO-16 factory Manual

## ユーザーズマニュアル

### 1. 使ってみましょう

**電池**  
2本の単4電池を入れます。  
極性のプラスとマイナスにご注意下さい。

**時刻設定**  
ノブAを回して時間単位、  
ノブBを回して分単位での時刻設定を行います。  
どれか他のキーを押して確定します。

**アラーム**  
sound + pattern ボタンを押します。  
時刻設定と同様にノブAで時間単位、  
ノブBで分単位のアラーム時刻を設定します。  
(アラームを解除するには、ノブAを一番下  
まで下げます)  
1-16のいずれかのボタンを押すと、  
アラームのサウンドを設定できます。

**時刻のリセット**  
時刻設定をリセットして初めからやり直す  
には、一度電池を抜いて入れ直します。

### 2. 再生

**パターンの選択**  
patternキーを押したまま  
キー1-16のいずれかを押しせば、  
パターンを選択できます。  
選択中のパターンに該当する  
LEDが点滅します。

**playキー**  
playキーを押して再生を開始します。  
もう一度playキーを押すと  
再生を停止します。

**シーケンス**  
1つのパターンは  
16ステップで構成されます。

### 3. パターンの作成

**サウンドの選択**  
soundキーを押しながら  
1-16のいずれかのキーを押して、  
サウンドを選択します。  
soundキーを押しながらキー16を押すと、  
マイクロ・ドラムが有効になります。

**シーケンスパターンの作成**  
writeキーを押すと、write (録音)  
モードのインジケーターがスクリーン上に  
表示されます。  
サウンド / 音符をグリッド上に入力すると、  
アクティブなステップが点灯します。  
playボタンを押すと、作成したパターンを  
再生できます。

**音符の入力**  
writeモードが有効の時には、光っている  
ステップを押しながらノブBを回すと、  
音符の長さを入力できます。  
また、ノブAを回すと音符の強さを  
設定できます。

### 4. サウンドの調整

#### エフェクトの追加

再生中にエフェクトをパンチンするには、  
FXキーを押しながら1-16のいずれかの  
ボタンを押します。

#### パラメーターの固定

writeキーを押したままノブA  
またはBを回すと、それに応じて  
サウンドのパラメーターが  
徐々に変化します。

### 5. テンポ

bpmキーを押すと、テンポを変更できます。  
テンポはディスプレイ右上に表示されます。  
HIP HOP (80 bpm)  
DISCO (120 bpm)  
TECHNO (140 bpm)

#### テンポを微調整するには、bpmキーを押し ながらノブBを回します。(60~206 bpm)

### 6. ボリューム

マスターボリュームを設定するには、  
bpmキーを押しながら1~16のいずれかの  
ボタンを押します。

### 7. ライブレコーディング

再生中にwriteキーを押しながら1-16の  
いずれかのボタンを押すと、音符を  
パンチンで追加できます。  
入力した音符はスウィング設定に応じて  
クオンタイズされます。  
パンチン操作が完了したら、  
writeキーを離します。

### 8. プレイスタイル

**プレイスタイルの追加**  
シーケンス/パターンの再生中にプレイ  
スタイルをパンチン設定するには、  
プレイスタイル・キーを押しながら  
1-16のいずれかのボタンを押します。  
プレイスタイルには、コード、アルペジオ、  
移調などの種類があります。  
設定が完了したらwriteキーを離します。  
プレイスタイル・キーを単独で押すと、  
設定済みのプレイスタイルが消去されます。

### 9. ソングの作成

**パターンのコピー**  
write + pattern キーを押すと、現在選択  
されているパターンがメモリー内にコピー  
されます。write + pattern キーを押した  
ままの状態では1-16のいずれかのボタンを  
押すと、現在選択されているパターンが  
新しいスロットに複製されます。

#### パターンの消去

プレイスタイル・キー + pattern キーを  
押すと、現在選択されているパターンが  
消去されます。

#### パターンのチェイン

パターンをチェイン (連続) するには、  
pattern キーを押しながら、連結したい  
パターンが記録されている1-16のいずれかの  
ボタンを押します。最大16個のパターンを  
チェインできます。ひとつのパターンを  
繰り返して選択することも可能です。  
例えば、1, 1, 1, 4とチェイン入力すると、  
パターン1を3回再生してからパターン4を  
1回再生します。その後、チェイン全体が  
初めから繰り返して再生されます。

### 10. 複数ユニットのシンク (同期)

複数のポケット・オペレーターを同期させる  
には、ラインインとラインアウトでクリック  
トラックを共有します。  
市販のステレオ・オーディオケーブルを  
使用して、複数のユニットを接続します。  
マスター側のユニットがスレープ側の  
ユニットのテンポをコントロールする  
ように動作します。  
マスター側のユニットのプレイスタイル・  
キー + bpm キーを押すと、シンクモードを  
切り替えることができます。この操作を  
繰り返して行うことで、ディスプレイ右上  
に表示されている異なるシンクモードへの  
切り替えが可能です。  
スレープ側のユニットで再生ボタンを押し、  
マスター側のユニットからのクロック信号を  
待ちます。マスター側のユニットの再生  
ボタンを押すと開始されます。

#### シンクモード

5つのシンクモードがあり、デフォルト設定  
はSY0です。シンク信号とオーディオ信号を  
同時に送信または受信する場合、信号は  
オーディオ信号 (右チャンネル) とシンク  
信号 (左チャンネル) とに分けられます。

#### シンクのシナリオ

**例A**  
chain: PO-12→PO-14→PO-16  
setting: SY1 SY5 SY4

**例B**  
chain: ext. → PO-12  
setting: volca SY2  
iphone  
computer  
synctrontrol

**例C**  
chain: ext. → PO-12→ PO-14  
setting: SY3 SY4

**例D**  
chain: PO-12→ ext. (スプリットケーブル)  
setting: SY1

ext.: 外部デバイス